

経営課題ごとの取組



経営課題1「人と人がつながるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 〔「福島区将来ビジョン」より〕	地域活動協議会をはじめとした地域団体が実施する事業の活性化等を支援するとともに、若い世代やマンション住民などにも地域活動への参加を促し、地域コミュニティの充実を図ります。			
令和5年度の取組概要	新型コロナウイルスの感染対策を踏まえた地域活動の継続を支援するとともに、地域活動協議会の認知度向上を図るため、広報誌・SNS等を活用した周知に努めるほか、より多くの住民参加による自律的な地域運営の実現に向けて、地域の実情に即したきめ細やかな支援に取り組む。			
令和5年度の主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5予算額
	地域活動協議会の活動の活性化に向けた支援	26,130 千円	35,547 千円	35,301 千円
	地域活動協議会の認知度向上に向けた支援			
	合計	26,130 千円	35,547 千円	35,301 千円
年度末における自己評価	【主な取組実績】 ・まちづくりセンターを通して有効な感染症対策、会計事務や広報の支援を実施。 ・区広報誌への特集記事掲載や、写真を多く使ったホームページの作成。 ・地域負担軽減のため、電子回覧板などを一部地域へ提案できたが、試行実施には至らなかった。 【自己評価】 ・地域活動はコロナ禍前と同様に活発となり、地域運営も全般的な底上げが進んだ。 ・各種広報活動を行ったが、地域活動協議会については現状それほど多く知られていない。			
今後の方向性	・地域活動が引き続き計画どおり実施されるよう、地域運営についてまちづくりセンターを通して支援を行う。 ・地域活動協議会のPRをするため、子育て世帯に対し、特に関心の高い地域活動についてSNS等を活用する。 ・電子回覧板などのコミュニケーションアプリを活用した情報共有に取り組みやすいよう、町会の班単位に働きかけを行う。			



経営課題2「安全・安心なまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	淀川の氾濫や南海トラフ巨大地震等による被害が想定される中、区民一人ひとりの「自助」「共助」の防災意識の向上に取り組めます。 また、地域・警察・区役所が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組めます。			
令和5年度の取組概要	災害時に自主防災組織が主体となって初期対応を行い、住民が安全に避難できる体制を確立するため、多くの地域で継続的に防災訓練等を実施できるよう支援を進めるとともに、各種啓発活動を通して「自助」「共助」による区民の防災意識の向上に努める。加えて、避難に際して支援を要する方の事前の備えとして個別避難計画の作成支援に努める。 また、防犯カメラ・街路防犯灯の設置など、地域・警察・区役所が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組む。			
令和5年度の主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5予算額
	避難所開設訓練等への支援	430 千円	981 千円	511 千円
	小・中学生の防災意識の向上	— 千円	72 千円	72 千円
	地域防災イベント	— 千円	900 千円	1,350 千円
	中学生体験学習事業	1,876 千円	2,218 千円	2,365 千円
	防犯カメラ・街路防犯灯の設置、防犯啓発による安全なまちづくり	2,852 千円	2,222 千円	2,140 千円
	合計	5,158 千円	6,393 千円	6,438 千円
年度末における自己評価	【主な取組実績】 - 小・中学校で防災授業（7小学校、3中学校）や地域で開設キットを用いた避難所開設訓練を実施。 - 防災アトラクション（防災イベント）を実施し、198名の参加があった。 - 中学生体験学習事業は、3中学校の生徒等で8月に宮城県を訪問し、12月に地域へ報告会を実施。 - 優先順位の高い要支援者から個別避難計画を作成するため、事前に様式を記入するなど地域を支援した。 - 防犯カメラを全地域に10台設置。 - 特殊詐欺対策として、固定電話に設置する自動録音機の無償貸与の啓発のため、区独自でチラシを作成した。 特殊詐欺対策のために！ 自動通話録音装置を無料で貸し出します 対象者：福島県内に住所を持つ方で65歳以上を含む世帯 この電話は、振り込め詐欺被害防止のため～自動録音されます 工事不要 取付簡単 【問合せ・申込み】 福島区役所 市民協働課(5階51番窓口) 〒553-8501 福島区大町1-8-1 ☎06-6464-9734			

	【自己評価】 ・防災アトラクションのアンケート結果でも防災意識の向上に繋がったという意見が97%あり、防災意識の向上に寄与した。 ・個別避難計画の作成については、地域の理解もあり進めることができた。 ・防犯カメラや自動録音機の設置については、地域防犯に寄与している。
今後の方向性	・子育て世代や小・中学生等へ「自助」「共助」による防災意識の向上を図るため、引き続き取組を実施する。 ・全地域において支援者などを記載した個別避難計画について、本人の同意を得て完成させるため、地域に丁寧に趣旨等を説明し、要支援者への訪問などの支援を行う。 ・防犯意識向上のため、啓発活動を中心に引き続き取り組む。

経営課題3「次世代を元気に育むまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	子育てしている親の不安感等の解消のため各種施策に取り組みます。 また、学校教育の現場ニーズに対応した支援を学校と連携して行います。			
令和5年度の 取組概要	妊娠期から就学前の子どもを持つ親の子育てで感じる孤立感や不安感、疲労感等を軽減するため、「赤ちゃん広場」や「美ママ講座」など各種事業を実施するとともに、授乳に関する助産師の専門相談、「ペアレントトレーニング事業」など保護者の養育力向上を支援する事業にも取り組む。 また、小・中学校の児童・生徒に対しては、「体力向上」に向けた取組として、トップアスリートによる「ゲストティーチャー派遣事業」を実施するとともに、民間事業者を活用した学習支援による「学力向上」に向けた取組の他、キャリア教育を進めるなど、学校と連携しながら学校教育の現場ニーズに対応した支援に取り組む。			
令和5年度の 主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5予算額
	育児不安軽減に向けた子育て支援事業	1,078 千円	1,709 千円	1,649 千円
	区役所庁舎を活用した子育て支援事業	464 千円	600 千円	600 千円
	ペアレントトレーニング事業	4,339 千円	4,611 千円	4,555 千円
	小・中学生の体力向上事業	220 千円	408 千円	506 千円
	小・中学生の基礎学力向上事業	13,868 千円	14,825 千円	1 千円
		19,969 千円	22,153 千円	7,311 千円
年度末に おける 自己評価	【主な取組実績】 ・「美ママ講座」や「ペアレントトレーニング」などの子育て支援事業を実施。 ・「区民センターでの民間事業者を活用した課外学習事業」や「ゲストティーチャー派遣事業」などの教育関連事業を実施。 ・「保護者・区民等の参画のための会議（教育会議）」などで学校教育の現場ニーズの把握に努めた。			
	 			

	【自己評価】 ・ 3歳児健診における各種子育て支援事業に関するアンケートでは、妊娠期や育児等で感じる孤立感や不安感、疲労感等の軽減につながっていると98%の回答を得た。 ・ 児童生徒のアンケートでは、「区民センターでの民間事業者を活用した課外学習事業」を受講して学習習慣の定着につながったとの回答が83%、「ゲストティーチャー派遣事業」を受講して運動への関心につながったとの回答が87%であった。 ・ 教育会議では、委員からそれぞれの地域課題を十分に引き出すことができなかった。
今後の方向性	・ 妊娠期や育児等で感じる不安感等の軽減につながるよう、引き続き各種子育て支援事業を実施する。 ・ 学校教育の現場ニーズを把握するため、教育会議などで意見を聴取し、引き続き教育関連事業を実施する。 ・ 教育会議において、活発な議論が行われるよう、委員数を拡充するとともに、事前に委員から地域課題等を聴取する。

経営課題ごとの取組

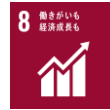


経営課題4 「誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 〔「福島区将来ビジョン」より〕	住み慣れた地域の中で、高齢者や障がい者など支援を必要とする方々が、自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や企業、団体、関係機関等多様な主体と連携しながら地域福祉の推進に取り組めます。 また、誰もがいきいきと毎日を暮らせるように、日頃から健康への関心を高めてもらえるよう啓発活動などに取り組めます。			
令和5年度の取組概要	「地域福祉ビジョン」を踏まえ、多様な福祉ニーズに対応するため相談支援体制を整備するとともに、住民同士の支え合い活動を支援し、つながり支え合う地域づくりに向けて広報啓発に取り組む。 また、誰もがいきいきと毎日を暮らせるとともに、日頃から健康への関心を高めてもらえるよう、生活習慣病予防、認知症予防やフレイル予防などの介護予防に取り組む。			
令和5年度の主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5予算額
	「みんなの相談室」・「福島お助けネットワーク」事業	15,224 千円	15,446 千円	15,690 千円
	地域福祉に関する広報啓発	299 千円	500 千円	679 千円
	がん検診の受診率向上	336 千円	383 千円	371 千円
	いきいき百歳体操の普及・継続支援	— 千円	— 千円	— 千円
	合計	15,859 千円	16,329 千円	16,740 千円
年度末における自己評価	【主な取組実績】 ・「みんなの相談室」「福島お助けネットワーク」の利用拡大に向けて区広報誌へ特集記事を掲載。 ・地域福祉サービスを広く周知するため、リーフレットを作成し戸別配布。 ・がん検診の受診率向上に取り組んだが、乳がん検診以外は前年度受診率を下回る見込み。 ・いきいき百歳体操について、健康展での体験会や支える会を開催し、地域での普及・継続支援を実施。			

	【自己評価】 ・「お助けネットワーク」などの区広報誌掲載後、問い合わせが多くあり、効果が確認できた。 ・がん検診の受診率向上のため、効果的な啓発が必要である。 ・「いきいき百歳体操を支える会」では、脳トレを取り入れることにより、参加者の意欲向上につながる事例の共有ができた。
今後の方向性	・地域福祉サービスを広く周知できるよう、区広報誌への掲載、リーフレットの作成等に継続的に取り組む。 ・がんの早期発見・早期治療は、継続的ながん検診の受診が有効であることを様々な機会等を活用して広報し、受診率向上につなげる。 ・百歳体操など様々な機会を活用し、引き続き介護予防の啓発をすべての地域で行う。 ・令和6年3月に第3期大阪市地域福祉計画等（令和6年度～令和8年度）が策定されたことを踏まえ、地域福祉ビジョンが策定されて2年が経過していることから、福島区の新たな福祉課題や環境変化に迅速に対応するため、新たな地域福祉ビジョンを策定する。

経営課題ごとの取組



経営課題5「魅力あふれるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 〔「福島区将来ビジョン」より〕	地域住民や企業、商店街等との連携により、区の魅力を発信できるイベントを実施するとともに、花とみどりのまちづくりを推進するなど、活気とうるおいあふれるまちをめざします。			
令和5年度の取組概要	新型コロナウイルス感染症の感染防止策を踏まえた新たな「にぎわいづくり」を検討するとともに、地域住民や企業、商店街等と連携しながら、「のだふじ」や「グルメ」など区の特性を活かしたイベントを実施し、更なるまちの魅力を発信に努めるとともに、活気とうるおいのあるまちの実現をめざす。			
令和5年度の主な取組	取組内容	3決算額	4予算額	5予算額
	「のだふじ巡り」など区の特性を活かしたイベントの実施	9,742 千円	22,151 千円	19,230 千円
	花とみどりのまちづくり事業	487 千円	572 千円	572 千円
	合計	10,229 千円	22,723 千円	19,802 千円
年度末における自己評価	【主な取組実績】 ・「のだふじまつり2023」、「ふくしまてんこもりEXPO 2023秋」を実行委員会に参画し開催。 ・「ざこばの朝市」（4回）を共催。 ・公共施設等に提供する花苗を育てる緑化リーダーの活動を支援するとともに、新規募集のため、区広報誌に特集記事を掲載。 【自己評価】 ・地域住民、企業及び地元商店街等と協働し、取り組んだ結果、区の魅力を発信することができた。 ・区広報誌で特集記事を掲載した結果、緑化リーダー9名の新規申込みがあり、人材を確保することができた。			
今後の方向性	・引き続き地域住民や企業、地元商店街等と連携し、さらなる区の魅力発信に取り組む。 ・緑化リーダーの高齢化に伴い、新たな担い手を確保するため、緑化活動を知ってもらう工夫を凝らした広報を行う。			

